

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社 ガイアックス 上場取引所 名
 コード番号 3775 URL http://www.gaiax.co.jp
 代表者 (役職名)代表執行役社長 (氏名)上田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)太田 賀子 (TEL)03(5759)0376
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,891	1.2	△58	—	△78	—	△83	—
24年12月期第3四半期	2,856	12.7	△25	—	△36	—	117	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △82百万円(—%) 24年12月期第3四半期 117百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△24 07	— —
24年12月期第3四半期	35 60	35 24

当社は平成24年7月1日付にて1株につき1.3株、平成25年7月1日付にて1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

また、当社は平成25年7月11日付でライツ・オフリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オフリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オフリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,797	1,571	55.9
24年12月期	1,704	327	17.2

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 1,564百万円 24年12月期 293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年12月期	—	0 00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	4.4	△80～△30	—	△100～△50	—	△150～△100	—	△43 32 ～△28 88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	5,147,752 株	24年12月期	3,963,440 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	492,074 株	24年12月期	695,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	3,462,825 株	24年12月期3Q	3,305,829 株

(注) 当社平成24年7月1日付にて1株につき1.3株、平成25年7月1日付にて1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

また、当社は平成25年7月11日付でライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込による株式分割相当部分が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府の政策効果による円安・株高の進行に伴い、企業収益が回復していることが消費マインド改善を後押しし、昨年末を底に景気は緩やかな回復傾向にあります。しかしながら来年度からの消費税増税や、米国の金融政策や財政問題など、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、当社グループを取り巻く事業環境は、ソーシャルメディアの利用者がスマートフォンやタブレット端末の普及もあいまって引き続き増加しており、世界的に展開する最大のSNSサービスを提供しているFacebookの利用者が既に9億人に達しているといわれているなど、今後も市場が堅調に拡大していくことが見込まれます。また、このようなソーシャルメディアの普及を背景に、ソーシャルメディアをビジネスに活用する動きが加速しており、ソーシャルメディアの企業利用は大きく広がりつつあります。

このような状況のもと、当社グループはソーシャルメディアの構築・運営・監視及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、引き続き事業の拡大を図って参りました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、主力事業でありますソーシャルサービス事業においては、引き続きソーシャルアプリサポートサービスの英語圏及び韓国におけるサポートの受託拡大が売上に貢献しております。また、監視サービスについても、ソーシャルメディアの普及に伴い増加している誹謗中傷などに対応する動きが高まっており、売上件数が増加しております。一方、受託開発事業については、既存顧客からの受注件数の落ち込み及び受注規模の縮小に加え、仕様変更などの影響により納期がずれ込み売上高が大幅に減少いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,891,582千円（前年同期比1.2%増）となりました。営業損益については、引き続き新サービスの開発投資、新卒採用及び人材育成の投資、サービスプロダクトの拡販のためのイベントの参加など積極的に行ったことにより費用が増加し、58,902千円（前年同期は25,292千円の損失）の損失となりました。経常損益は、ライセンス・オフアリングに伴う株式交付費により78,160千円（前年同期は36,410千円の損失）の損失となり、四半期純損益は83,364千円（前年同期は117,696千円の利益）の損失となりました。

(ソーシャルサービス事業)

《法人向けソーシャルメディア活性化サービス》

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される(マイクロ)ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

《教育機関向けソーシャルリテラシーサービス》

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

《法人向けソーシャルネットワークサービス》

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していく「エアリー」、日常業務の生産性を高める「Co-Work(コワーク)」などのクラウド型社内SNSを提供

《デジタルコンテンツサービス》

モバイル/スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き《法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス》及び《ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス》の売上が順調に増加しております。

業界トップクラスの投稿モニタリング実績を活かし、ネット選挙運動解禁後初の参議院議員選挙において、ネット上の誹謗中傷・デマ対策に取り組む24時間稼働の組織の一員としてのネット選挙支援に取り組みました。また、相次ぐソーシャルメディア上でのトラブルに対応し、飲食・小売を中心としたサービス業向けに苦情モニタリングの提供を開始しております。ソーシャルアプリ・スマートフォンアプリ向けユーザーサポートにつきましては、日本国内のソーシャルアプリプロバイダーの海外進出に伴い、多言語ユーザーサポートの売上が伸長しております。

この結果、売上高については、1,861,883千円(前年同期比15.4%増)となり、営業損益は69,449千円(前年同期比58.1%増)の利益となりました。

(受託開発事業)

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第3四半期連結累計期間の業績は、既存顧客からの受注件数が昨年に比べ落ち込んだことに加え、規模の小さい案件が多く、また仕様変更による納期のずれ込みも重なり売上が想定より大幅に落ち込みました。その結果、売上高は、1,060,539千円(前年同期比17.3%減)となりました。営業損益については、売上高減少の影響により、デジタルサイネージや新規コンサルティング事業、新規自社開発などの先行投資費用がカバーしきれず7,557千円(前年同期は35,731千円の利益)の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて75.4%増加し、2,552,923千円となりました。これは、主にライツ・オフアリングにより現金及び預金が1,076,147千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、244,450千円となりました。これは、無形固定資産が7,578千円、長期貸付金が8,152千円減少したこと、及び長期預金が11,970千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて64.1%増加し、2,797,374千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、874,022千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が31,140千円、未払費用が16,534千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて28.5%減少し、351,870千円となりました。これは、主に社債が41,000千円、長期借入金が99,115千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.0%減少し、1,225,892千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて380.0%増加し、1,571,481千円となりました。これは、ライツ・オフアリングによる新株予約権の行使による増資1,259,371千円と従業員によるストックオプションの行使に伴う資本剰余金の増加35,441千円及び自己株式の処分等による自己株式の減少59,009千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえて、平成25年2月15日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日別途公表いたしました「平成25年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,019,829	2,095,976
受取手形及び売掛金	363,901	348,305
仕掛品	12,928	62,132
その他	62,758	50,005
貸倒引当金	△3,902	△3,495
流動資産合計	1,455,515	2,552,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,588	36,153
工具、器具及び備品(純額)	27,590	25,915
有形固定資産合計	65,178	62,069
無形固定資産		
ソフトウェア	7,885	5,075
のれん	15,895	11,126
その他	145	145
無形固定資産合計	23,926	16,348
投資その他の資産		
投資有価証券	24,562	30,553
長期預金	19,050	31,020
長期貸付金	29,665	21,513
敷金及び保証金	75,748	76,285
その他	22,709	24,582
貸倒引当金	△12,137	△17,921
投資その他の資産合計	159,599	166,032
固定資産合計	248,705	244,450
資産合計	1,704,220	2,797,374

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	135,974	104,834
短期借入金	165,000	165,000
1年内返済予定の長期借入金	182,464	167,360
1年内償還予定の社債	41,000	41,000
未払費用	147,747	131,213
預り金	27,832	12,846
未払法人税等	5,213	9,828
賞与引当金	—	52,361
その他	179,631	189,578
流動負債合計	884,863	874,022
固定負債		
社債	110,000	69,000
長期借入金	349,585	250,470
その他	32,400	32,400
固定負債合計	491,985	351,870
負債合計	1,376,848	1,225,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	729,685
資本剰余金	377,540	1,042,667
利益剰余金	17,383	△65,980
自己株式	△201,863	△142,853
株主資本合計	293,061	1,563,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	687
為替換算調整勘定	394	485
その他の包括利益累計額合計	405	1,172
新株予約権	33,904	6,769
少数株主持分	—	21
純資産合計	327,371	1,571,481
負債純資産合計	1,704,220	2,797,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,856,499	2,891,582
売上原価	1,826,833	1,847,168
売上総利益	1,029,665	1,044,414
販売費及び一般管理費合計	1,054,958	1,103,316
営業損失(△)	△25,292	△58,902
営業外収益		
受取利息	1,035	741
助成金収入	10,061	2,392
為替差益	1,193	3,036
持分法による投資利益	—	4,902
償却債権取立益	1,800	—
未払配当金除斥益	—	4,690
その他	1,111	1,722
営業外収益合計	15,202	17,485
営業外費用		
支払利息	8,183	6,601
支払保証料	487	491
貸倒引当金繰入額	55	677
株式交付費	—	28,495
持分法による投資損失	17,047	—
その他	545	478
営業外費用合計	26,320	36,744
経常損失(△)	△36,410	△78,160
特別利益		
投資有価証券売却益	88,745	—
持分変動利益	51,823	—
新株予約権戻入益	15,743	241
特別利益合計	156,312	241
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119,901	△77,918
法人税、住民税及び事業税	2,205	5,425
法人税等合計	2,205	5,425
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	117,696	△83,343
少数株主利益	—	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	117,696	△83,364

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	117,696	△83,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	675
為替換算調整勘定	△34	91
その他の包括利益合計	1	767
四半期包括利益	117,697	△82,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,697	△82,597
少数株主に係る四半期包括利益	—	21

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年7月11日の株主確定日における株主に対しライツ・オフアリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)による新株予約権を発行し、当該新株予約権が行使されたことに伴い、資本金が629,685千円、資本準備金が629,685千円増加しております。

また、ストックオプションの行使による自己株式の処分等に伴い、当第3四半期連結累計期間において新株予約権が27,135千円、自己株式が59,009千円減少し、資本剰余金が35,441千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末において、資本金が729,685千円、資本剰余金が1,042,667千円、自己株式が142,853千円、新株予約権が6,769千円となっております。

(5) 重要な後発事象

平成25年10月末日をもって代表執行役及び執行役を辞任する役員に対し、特別退職金として35,000千円を支給することを報酬委員会で決議いたしました。これにより、平成25年12月期において35,000千円の特別損失を計上いたします。